THE WOMAN'S WEEKLY
第貳卷 第五十二號
大正五年十二月廿二日發行 毎週金曜日發行
大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

クリスマス號目次

□祝クリスマス……小橋三四子
□今年の婦人界(下)……同人
□時事週評……
□マリヤの胎教……久布白直勝
□短歌「小死」……安中花子
□クリスマスカロル……K子
□一人一評「島田信子」……エム、ケイ、
□落の貧民を賑す安物市……民子
□倹約物語「湯錢の値上」……近藤湖
□正月の飾り……斉田露伴
□何故に美人少きか……澤田斷雲
□畫……
□騰つた日常品の相場……
□手軽で美味しいおせちの煮方……川崎正子
□送年記……浅田花嵐
□子供の智慧……
□アジアハバサンタクロスの郵便函……あづま
□雜記帳から……高田せい子
□新刊紹介……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵送料五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

出來たばかりの新しい書物

クリスマスの贈物は上品で生命の長い書物に限る

最新版

おいしい料理が手輕に出來ます

手輕でおいしい和洋料理の拵へ方

櫻井女塾長 **櫻井ちか子先生著**

四六判美装 説明圖振假名付 定價八拾錢 郵税内地八錢

此の本一册あれば金をかけないで手輕でおいしい御馳走が出來ます

御主人もお子達も大喜びの御馳走が誰にもスグ出來るやうに手を執つて教へるやうな解り易い文章で親切に書いてあります

櫻井先生が一番骨を折つて御書きになつた本はコレです

コレさへあればドンな料理でも自由自在に出來ます奥様やお介嬢方が一日も手放す事の出來ぬヨイ本で御座います。

どんな事が書いてあるか

朝飯のお菜の拵らへ方
惣菜料理のいろいろ
汁物の拵らへ方十數種
御主人のお喜びになる酒の肴
手輕に出來るお漬物
懐石料理のお献立
朝飯用の手輕な洋食
スープの拵らへ方種々
魚肉と獸肉の料理法
あつさりとした野菜料理
お菓子及パンの拵らへ方
病人の喜ぶ食物の料理
臺所の改良案

賣り切れぬ内本日スグ御申込を乞ふ

本誌の讀者には定價の一割引にて御送りします

類書がありますから佐藤出版部の發行のものを御求め下さい

發兌 東京神田駿河臺鈴木町十六番地 **佐藤出版部**
電話本局三一〇五番・振替東二九〇二九番

書物も讀んでスグ役に立つ御家庭向のものに限る

贈物にはコンナ書物がよい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ユダの邑に會心の友ザカリヤを訪ねしマリヤ

(「マリヤの胎教」參照)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クリスマスを迎えんとして

□暁を告ぐる明星

「其の時二人田に在んに、一人は取られ、一人は遺さるべし。二人の婦磨ひき居らんに、一人はとられ、一人は遺さるべし」と専横な羅馬の屬國にありしイスラエル人は、田に在る壯丁は何時奴隷に徴集さるゝやも計られず、美人は何時遊女として賣らるゝも知れざりし不安極まる國狀にあつて、人々は鹿の溪水を慕ひ喘ぐがごとく、救ひ主を求めて止みませんでした。暗黒の世は遂に明けて、ユダヤのベツレヘムに暁を告ぐる明星は輝き出ました。イエス、キリストの誕生はこれであります。

□有情の天地と變ず

キリスト出で給ふて、世は一變致しました。心の驕れる者を散し、權柄ある者を位より下ろし、卑賤者を擧げ、飢たる者を美食に飽せ、富る者を徒しく返らせ」、此處に人の契約なる政治法律から人々を解き放ちて、自由な精神の王國が建設されました。そして野の百合も王者の榮光に勝り、一羽の雀にも、限りなき神の慈愛に籠れるのを説いて、有情の天地の、甘き滴りに、人々の永い渇を癒す術を敎へられました。この時、人々は、どんなに喜びを感じた事でありませう。

□光明と平和の源

キリストは今なほ人々の心に、此の喜びを與へて居られます。文明の先驅者を以て誇つて居つた歐洲も、さもしい人間性は、慘憺たる戰禍を齎らして、幾多の血と財貨とを散らして居ります。人の作つた文明は、決して人々に住みよい世界は與へますまい。智慧も、財寶も、名譽も、位も、戀も、藝術も、甘きが如くして、常に不安と暗黒とを與へて止まぬ中に、キリストはイスラエル人に與へ給ふた如く、常に世の束縛から離れた光明と平和の源となつて、人々を哺んで居られます。救ひの言葉に、國の境界を置く必要はありませぬ。私共は飽く迄、その言葉を胸に充たしたいものであります。

□珍客の招待

祭りとしてのクリスマスは、既に世に歡迎されて居ります。さり乍ら、その祭りの主が人々の心の扉を叩く時には、其の昔ベツレヘムの客舍が、滿員の故を以て、マリヤの宿泊を拒絶したやうに、なほ多くの人は其の客人を中に請じ容るゝに吝であります。私共は俗惡な客を除り多く歓待して、遠來の珍客を逸する恨みのない樣に、心を掃き清めて、待ちたいものであります。そしてクリスマスには、先づ主を請じて祝ひ樂しみたいものであります。(三四子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今年の婦人界(下)

漸く堅實の發展に向ふ

□初めての理學士

世の褒貶を外に、默々として東北大學の學窓に、三年を過した牧田らく子、黑田ちか子の兩女史が、今年卒業の榮譽を擔ふて、理學士の稱號を贏ち得たるは、其の當時の本誌にも論じたる如く、この一事が我國婦人界の學事に堪ゆる證明者として稱ふるよりも、初めての道を歩みたる開拓者としての勞に多くを報いなければならないと思はれます。何となれば我が婦人界は、大學教育の門戶を閉されて居る以前より、既に諸方面に多くの能力を發揮して居る者あるを見ても、今にして學事に堪ゆるか否かを試むる必要がないからであります。只開かれた門戶に、眞先きに進んで、婦人の未だ歩まざりし道の、經驗をされた事は、我が婦人界にとつて、新らしい貢獻であります。大學の門戶が、明治の初年に開かれて居つたら、其の當時から、もはや學士號を得る者は續々あつたでせうに、餘り男女の教育を分ち過ぎた今日に於ては、却つて其の門戶は、甚だ婦人と縁遠きものとなつて、其の後を繼ぐ者の無いのは、殘念な事であります。

□皇后陛下の御奬勵

昨年は御慶事の爲、御引籠り勝ちに過させ給ひし我が皇后陛下が、學事御奬勵の思召を以て、女子高等師範に、學習院に東京音樂學校に行啓あらせられ或は文展に臨ませられたる御精勵のほどは、畏こき極みであります　陛下が文展に御揮毫を許させられて後、改めて上村松園女史に揮毫を命じ給ひしが如き、東京音樂學校に於て「藝術に國境なし」として、特に御遠慮を申したる演奏中に、獨逸の名曲を御所望ありしが如きは、學藝に於て並ならぬ識見を持たせ給ふを知るに足るものであつて、上にこの正しき評價を行はせ給ふ奬勵者を戴くことは、我が學藝界の爲め、祝賀すべき處であります。

□女教員劣等問題

然るに何ぞや、この滔々として、我が婦人界發展の兆ある時に當つて、女子小學教員の劣等問題起り、或は岡山縣下の如き女子師範廢止の陳情等を見るに至つたのは、いかにも時勢に逆行せるかの如き觀があります。これは輕々に看過すべき事ではなくして、其の根源は明らかに

二

解つて居ります。即ちこの數年來著しく女子の教育が良妻賢母主義に傾き、料理、裁縫等の技術に亘つて、頭腦の養成を怠つた結果、世に起つた曉、男子と伍して職業を執る上に、著しく見劣りのするのも、止むを得ない次第であります。教育は決して空論を注ぎ込むものでないのは勿論でありますが、頭腦の鍛錬を離れた末技の教育の、無效なるはこの一事に徵しても、深く省みなければならぬ處であります。今日世に活躍せる婦人が廿年も以前と大差なく、或る名流婦人の如きは、頻りに若手の出現を待ち望んで、なほ其の人を得ぬのを歎ぜらるゝが如きは明治初年の女子教育の如く、近年の教育の大膽でなかつた事が我が婦人界にとり、一大損失であつた事は、確かであつて、今後の女子教育者の、大に考へて頂き度い處であります。

□婦人問題研究會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人問題はこの數年來、社會を賑はして居る問題であります然しながら未だ何等の組織立つた研究も、發表もなく、僅かに或る一部の婦人の行爲が閃光のやうに定まりない徑路を取つて社會に往來して居るに過ぎないのであります。而して之れに對しては、面白半分に騷ぎ立つる連中が「愈々益々不眞面目な叫び聲をするのに過ぎずして「新らしい女」と云ふ事は、一種の嘲笑の意味をさへ含むに至りました。然るに本年初頭に於て、女子教育家の麻生、宮田、下田、高野の諸氏によつて、婦人問題研究會が組織され、酷暑の候を除ける外は、毎月催され有益なる講演の下に、多數の名士が眞面目にこの問題に心を傾けらるゝに至つた事は、喜ばしい限りであります。女子教育家を始め、有志婦人もかやうな會合に勇んで出席し、婦人の間に起る實際の問題に對しても、常に迷はざる方針を樹立するやう心掛けたいものであります。今の社會の事情上、婦人が學者諸名士を糾合して、この種の企てをするのは、困難な時に當つて、代つて催されたる女子教育者等に對して、滿腔の謝意を表さなければなりますまい。

＊　＊　＊

要するに我が婦人界は、突飛なる時代を過ぎて、漸く堅實の發展に向はんとする傾向の見ゆるのは、喜ばしい事であります。この基礎の上に、近く我が婦人界の新紀元は開かるゝでありませう。（三四子）

時事週評

□獨逸の講和提議　突如として傳はりたる獨逸の講和提議は、別項時事欄にも掲載せる如く、餘り勝手强きものでありました之れに對して聯合國が送つた對案は、遙かに獨逸の謙讓を促したもので、兩者の甚だしき懸隔は、到底直ちに調停さるべしとも思はれませぬ。一方英國に於ては軍事内閣が、國民の好意の中に忽ち成立し、佛國亦内閣の改造を行つて、膺懲の軍を徹底的に進めんとの氣慨を示して居ります。後に禍根を殘す講和を結ばんより、今一氣を揮つて、永久の平和の基を作るこそ望ましい處であります。

□空の女王飛ぶ　十五日東京市の歡迎に報いん爲め、未知の空に夜間飛行を試みて、先づ其の妙技に二百萬の市民を感歎せしめたるスチンソン孃は、十六日十八日の兩度の飛行に於て、得意の宙返りを演じて、我が飛行界を顏色なからしめました。孃はなほ廿歲に滿たぬ妙齡であつて、飛行術を學んでから、僅かに四年半になるのみであると申します。航空隊迄、組織されて居る我が國に於て、未だ一人の達人をも出さぬ事は心細き次第であります、死を鴻毛の輕きに置く日本人は飛行機に乘ると云へば決死隊にでも出づる氣になるのが、先づ間違ひではありませぬか。スミス氏も「決して死なぬとの自信が、私の技術を大膽にした」と云はれた如く、死を急がずして、根底の科學的研究を徐ろに積んで、之を操縱する術に達したらと思はれます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

マリヤの胎教

牧師　久布白直勝

□胎は借りものか

胎は借りものと云ふ諺があるが、諺ばかりでない、借りもすれば、貸しもする、蓄妾道樂は我國の名物の一つである。胎教とは支那の書本に見たやうであるが、喧しく論ぜらるゝに至つたのは、ほんの近來の事で、心理學と云ふ學問がはやり出したお蔭である。胎は決して借りものぢやない、母の靈魂母の血が小兒を醸成する事は、寧ろ父親以上であると言ふ理窟が、理解さるゝやうに成つた。

されど昔から、東洋にても西洋にても、賢母と云はるるほどの人は、胎内教育を重じて來た善き木は其の實に由て之を知るで、古來の大人物をしらべて見れば、多くは母の養育感化に其の源泉を發見する。されば、世界無比の人格と言はるゝ、基督の事を研究して見ても、決して偶然ではない、この母にしてこの子ありの理を悟る事が出來る

□第一の胎教

高潔清操の愛は、婦人の本質でなければならぬ。心理學の大家スタンレー、ホールは、青年期と云ふ著書の中に、この模範を聖母マリヤに於て見ると書てをる。誰しもイエスを懐く聖母の繪畫を一見するものは、其の目の冴えたる、其の形貌の直なる、其の情致のこまやかなるに注視せざるものはあるまい。『慶たし恵まるゝ者よ』とは、聖書記者が天使の口をかりて、受胎を祝したる第一の言葉であつた。之を拔にしてマリヤなく、勿論基督があらう筈はない。『これ』とは言ふまでもなく、神であるマリヤは受胎の喜びは誰よりも先づ神より受けた。彼の女は神によつて磨き養ふ事を以て、胎教第一の務めとなした。豊かなる心、あたゝかなる情志、眞面目なる信仰、かう言ふ精神に浸潤されて、胎内の嬰兒を養育した。

□不安のユダヤ

マリヤはイエスを胎みつゝ、圓滿なる家庭に何不自由なく暮して居つたかと云へば、決して

四

さうでない、當時羅馬帝國は世界を征伏し、其の手は遠く東方のユダヤにまで及んで來た、先にはバビロンに亡ぼされ、ペルシャに苦められ、ギリシャに打たれ、今度は羅馬より盛んに租税を徴集され、經濟問題の包圍攻撃に合ふてをる、油斷をすれば借金より奴隷に落ちる、自由の民と奴隷とは髪の毛一とすぢの間に迫つて居た、國家も家庭も不安に滿ち〳〵てをつた。然しこの國の志士淑女の間には、數千年來養成し來りし『神の選民』と云ふ、拔く可からざる信念と愛國心とが燃えて居つた。若し人全世界を得とも、其の生命を失はゞ何か益あらんとの、大氣焔を擧げて、人間の價値を高調し、羅馬帝國の物質萬能主義に對抗をこゝろみた。女たらんものは誰しも、國家の光榮を恢復し、神の支配として治まる御世の實現をはかるべき、眞人物を生まんものとの希望を持てをつた。マリヤは實に其の指導

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者の一人であつた、彼の女は決して高潔清操の愛にのみ富める婦人ではなかつた、其の内には膽識と言ふ血が流れて居つた。彼の女の愛格はなよ〳〵立たる現代式の御孃さんではなかつた強い性格が其の脊髓を貫ぬいて居つた。

□マリヤの友

マリヤは其の孕めるを知るや胸中の大願鬪憤おさえんとして抑ゆる能はず、遂に其の親友エリザベスと云ふ夫人を訪れた、こゝに留る事三ケ月、其の間思ふ存分語りもし相談もした。エリザベスは賢夫人である、マリヤの氣高い心の思ひを見拔いたそこで出來る丈けの同情と奬勵とを、この新來の客に與へた

「エリザベツ、マリヤの問安を聞しかば、其の胎孕胎の内にて跳動たり。エリザベツ聖靈に感られ、大聲に呼いひけるは、女の中にて爾は福なる者なり、亦孕る所の者も福なり、わが主の母われに來る、われ何に由てか此事を得し。夫爾の問安の聲わが耳に入しとき胎孕よろこびて我腹の中に跳れり、主の言を信せし者は福なり。そは主の語りたまひし如く必ず成るべければ也」

マリヤの胎敎は又この友人と淸き交りの雰圍氣の中に營まれたる事を知らねばならぬ。

□進軍の歌

エリザベスの同情と奬勵と見識とは、一々マリヤの胸にこたへた。彼の女が臥ても起きても忘る能はざる、ガリラヤの平民否寧ろ窮民。齒の根も折れんばかりに殘念に思ふ、物質萬能主義者の壓迫、これらのものが其宗敎的情操を鼓舞し、マリヤは遂に進軍の歌を詠ずるに至つた

「マリヤ曰けるは、我心主を崇め我靈はわが救主なる神を喜ぶ、是その使女の卑微をも眷たまふが故なり、今よりのち萬世までも、我を福なる者と稱ふべし。その權能を有たまへる者、われに大なる事を成せり、其の名は聖く、その矜恤は世々かれを畏るる者に及ばん、その臂の力を發して心の驕る者を散し、權柄ある者を位より下し、卑賤者を擧げ、飢たる者を美食に飽せ、富る者を徒く返らせ給ふ。アブラハムと其子孫を窮なく憐むことを忘ずして、其僕イスラエルを扶持たまへり。是れわれらの先祖に言たまひしが如くなり」。

□この母の子

マリヤには以上の胎敎があつた。即ち胎内より其子を神の學校に入れた。同時に其の心中には一點の暗いものをも留むる事なく、神に祈り、又た聖友に打ち明けた。幸にも打ち明くる事が出來る丈けの信仰の友を持てをつた。其の膽識に至つては、夜も晝も、或は理想となり、或は祈りとなり或は涙となつて、嬰兒に無形のミルクを與へて居つた。イエスはこの母の子である。

生死

安中花子

哀れにも衰へ果てし心かなおとろへ果てし戀力かな
我が胸の罪のかくれ家いさぎよく開かばいかに今の今いま
悲しみに捕はれ果てし心もて紅葉濃き日を歌も無かりき
いとせめて寂しき時はよそへ行き人の戀など語りて泣きぬ
生死はそれにかゝれる如くにも忘れられじとすがりつる哉

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

クリスマス・カロル

懐郷の旅人の胸に響きし天來の音樂

□倫敦の近郊にて

千九百十五年の十二月二十四日の夕べの事であります。英國ケント州の一都市スキッドカップ市のうそ寒い停車場へ、小さい旅行李をかゝへた一人の日本婦人が怖々と下車しました。その夜は不幸にも一臺の馬車すら停車場になかつたので、婦人は止むなく、何かの記憶を喚び起すやうに時々首をかしげながら重さうに旅行李をかゝへ、足にもつれるスカートを片手につまんでトボ／＼と遙か暗の中につゞく野路を急ぐのでありました。この日本婦人こそ今の女子高等師範學校の敎授二階堂とくよ女史なのでございます。

□獨り行く暗の道

女史が渡英なすつたのは之れよりずつと以前のことですが、この年の九月から甚く健康を害されたので、冬の休みを幸ひに轉地保養を策てなすつたのであります。そして多くの候補の中から殊にスキッドカップ市が選み出されました。スキッドカップ市は首都ロンドンから汽車を走らせると僅かに四十分餘で行かれます。風光明媚な、閑靜な片田舍の一市であります。その冬は歐洲大戰の開戰の初年で國内の人心は激昂し殺氣だつてゐたので、この樂土にも來る人は極めて少なかつたのです。で女史は夕暗の中を、一人トボ／＼と行かれねばなりませんでした。

□漸く辿り着いたホテル

地理に全く不案内だつた女史は、親切に敎へて呉れた友人達の言葉をポツリ／＼と綴るやうに頭に描きながら、とある中ば朽ち果てたやうな破れた門の中に這入られました。門内は見渡す限り、春にもなれば水々しい綠の若草が萠え出るだらうと思はれる芝原でした。旅行李を一つ持たれた女史は、行かれても行かれても家らしいもの、影が見えない。暗らい夜、見知らぬその野路に立つてどうなる事かと故知らぬ涙がホロ／＼と落ちさうになつた頃、遙かに闇を透して朧氣な光りが浮んで見えました。女史の歡びは如何であつたでせう。辿りつかれると夫れは大きな然しながら鄙びたホテルだつたのでございます。行き迷はれた廣大な芝原は、約一哩もつゞくホテルの庭の一隅でした。

□不安な氣分

ホテルには兎も角も一週間あまりの滯在を約し、ボーイの案内で晩餐の卓につかれました。そして食後の疲れた身體を柔かなソファアの中に埋め、闇の中を歩んでゐた自分の姿を寂しく心に描きながら、異郷の旅情にしみ／＼と浸つてゐられると、イキナリ、ツカ／＼と一人の大男が近づき來て、握手を求めるのでした。

『レデー。私は非常に日本に好意を持つてゐる大の日本贔負の一人です。私は日本の御婦人に會ふのは非常な歡びであります どうぞお近づきになる光榮を得させて下さい。』

日本から英國までの遙けき波路を、一人旅をお續けなすつたほど度胸の好い女史も、この夕べ、この未知の男の所作には流石にヒイヤリとなさいました。紳士國と稱へられる英國の男子にも似合はない行爲であらねばならぬ。

『どうぞお許し下さい。私は御紹介のない方とは一切、握手な

六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

どを致しませんから。』とキッパリ断られると、やがて紳士は輕卒なりし己が行爲を深く恥入つたらしく、

『決して惡意があつてしたのではありませんから。』と厚く詫びながら立ち去りました。

□懷郷の涙

男の立ち去るのを見送られた女史の胸には、ひし〳〵と懷郷の念が燃え上りました。夜の幕の濃く深く閉した旅の窓に立ちつくし、少女子の昔の心にかへつて故郷の山河のたゝづまひ。老いませる母刀身の上、などを盡きず思ひ浮べてなつかしさに堪へず、一しほ異郷の空の寂しき、物足らなさ、果なさを心に泣いてゐられますと、音なく森々と更けてゆく闇の彼方から、かすかに妙なる音樂の音が流れて來ます。聲豊かなその調べは、望郷の念にうち沈んでゐた女史の心を慰めるのに充分だつたのでせう。何時しか心はその音を追つかけてゐました。

□近づき寄る樂の音

やがて此の歌ひ手の一隊はホテルの前に著きました。夫れは美々しく着飾つた近村の青年男女で、各々組を作つて田舍馬車に分乘し、重立つた家々の前でクリスマスカロルを歌ひ、それによつて得た報酬を慈善事業に捧げるのでありました。その青年達は悉く良家の人ばかりであります。相手に對する敵愾心の燃えさかつてゐた開戰當初、味方同志になつた國の人と言へば互にかき抱きも合ひたきほどに和んだ氣分に浸つてゐた故にとは言ひながら、未知の男子から突然無法な握手を求められホテルに對してまでも不安な思ひをいだかれた女史は、クリスマス、カロルの歌ひ手が尋ね來るほどの家ならばとの安神に、心のもつれが次第にほぐれて溶けるのでした。

『ほんとにあの暗い旅の夜、闇を透してホテルの窓に流れ來た歌聲は、長く、長く私の心から消えない思ひ出でせう。詩のやうな思ひ出、私には自ら敬虔な感じが湧きます。』

と、女史はその日を思ひ出でて夢を追ふ人のやうにさう仰有います。(K子)

＊　＊　＊　＊

七

一人一評

島田信子

▲親しい訪問者は、島田氏が書齋に在つて今發信しやうとする手紙を、夫人の朗らかな聲で讀み擧げるのを聞かれて、封するのを屢々見聞するでありませう。公私の繁劇な事務を愼重に處理される島田氏の、秘書官ともなり、顧問役ともなるのは、實に信子夫人であつて、如何なる場合も夫婦の間に通じて居られぬ事が露程もないのは、心地よい極みであります。

▲あの水仙のやうに、淸らかになよやかな容姿の信子夫人が、[illegible]な問はれるさ、ハキ〳〵さ明瞭なお答へをなさるのは、確かに因循な日本夫人の型を破つて居られます。夫人は料理に巧みに、家事の整理整頓に、普通以上の才能を揮つて居られる以外に、讀書によつて常に繁劇な良人に、時勢の一斑を報ずる事を務めて居られる。毀譽褒貶が降るやうに在つても、夫人は之れに動かされた事はなく、「何々雜誌に、島田氏の惡口が書かれてあります」さ敎へられる時は、「惡口を讀む暇で、利益になる書物を讀みませう」さ云はれるのが常であります。

▲今早稻田大學の政治科に學んで居れる令息が過般特待生となられるさ、早速不用になつた廿幾圓かの月謝を、救世軍の肺結核療養所に寄附されたのは、母君の勸めであつたさ申します。もう大學生の二人の令息が散歩の際にも母君の右さ左にあつて、その美しい感化に浸つて居られるさまは、いかにも多幸の家族でありますー(エム、ケイ)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

暮の貧民窟を賑はす安物市

「飯が一大事の社會」巡り

口面白い企圖

この暮れの廿九日頃、細民の救助を目的に、府立第一高等女學校の卒業生からなる鷗友會は、その會員各自が自家の不用になつた衣類などを下谷萬年町の某寺に持ち合はせて安物市を開き、無代で物を與へると言ふ惡習をさけて、極めて廉償で分つと云ふ策が成立したさうである。近頃まれに聞く面白い事業だと思ふ。私は夫れらの恵まれんとする細民の住む歳暮の貧民窟をのぞいて歩く。彼等は如何なる生活を營んでゐるのか——

口都大路の裏に

世の中は正貨の流入だとか、出超何億萬圓だとかと言つて歐洲の戰亂のために恐ろしい景氣になつてゐる。そして船成金だとか、株成金だとか、曰く何成金、何成金と、種々雜多な成金が出來て、歳暮の都大路に黃金の花を見せびらかしながら飛び歩く大盡さまが多くなつてゐる年の市に、色街に、歳暮の大賣出しに、卑しい我慾と虛榮の眼を光らしてウヨ／＼と流れ行く人間の塊も增して來てゐる。日蔭町邊りの古着屋さんの店の繁昌する有樣などを見ながら、その表面を素通りして行けば、救つてやらねばならないほどに困り切つてゐる人間は何處にもありさうには思はれない。都の大路小路は街相應にお祭のやうな賑やかさで、騷々しい。

『面白い世の中になつたね。』と、懐寂しい人間までか、義理にも言はねばならないやうな景氣である。

口萬年町へと

まづ私は萬年町へ行く。車坂の辻に立つてゐた巡査さんに向つて、

『萬年町は何方へ行つたら宜しいのでございませう。』と訊ねたら、

『この向ふの方ですがね。』と右の方を指し、そして、『彼方にまた交番がありますから、番地は其處でお訊ねなさい。』と言ふのであつた。私は電車についてすた／＼と歩む。そしてとある横丁から裏町を、裏町をとえり行くと萬年町の二丁目に出た。うす暗い、二疊に六疊くらゐの小さな家が、ジミ／＼と兩側に立ち並らんだ街だ。婆さんがシヨンボリと坐つてゐる駄菓子屋の前などには、現はに膝坊主の飛び出したやうな着物を着た子供達が、物欲しさうな目を光らしてウヨ／＼と群り立つてゐたりする。表通りに遊んでゐる子供達のやうに元氣な、大きな聲を出すものは一人もない。

『諸君、腹が減るといけないから大聲を出すのは止さうよ。』とさう言ひ合はせてゐるやうだ。目に角を立てゝ喧嘩をしてゐても、暴力を振ふ者もゐなければ聲を發する子供もない。唯、靜かだ。陰鬱な家の中をそつと覗いて見ると、側目もふらずに麻糸をつないでゐる青白い痩せた女がゐたり、マッチ箱や紙袋をセッセと貼つてゐる女がゐたりする。遊んでゐる人間は一人もゐない。等しく深刻な現實の世界にピタリと顔を向けて勇敢に戰つてゐる。飯か、貞操か、の問題も彼女等の間にこそ議論でなく、現實の問題として起るだらう。默々として働いてゐる其處には、

『食べずには生きてゐられないからね。』と、大きな聲が言つてゐるやうに思はれる。が夫れは特に年の瀨なるが故にと言ふ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のではない。之れが人間の生活だから、と言つてゐるやうだ。

上野の停車場前へ出ると、世の中は再び明るい場所に變る。暮の大賣出しの旗が家毎の軒に群り立つて、さながらお稻荷さまの祭禮に出會したやうな氣がされる。追ひかけるやうに人足が早やい。正月の雜煮に分つ救世軍の慈善鍋が冷たい冬の風に吹かれてゐた。職人體の人が多く入れるさうだ。之れも面白い世の中の現象だ。

□トン子ル長屋

「東京にも乞食がゐるんですか」と田舍の物持ちの奥樣がピックリなすつた事があるが、花の都には乞食よりも一層慘めな生活を營んでゐる無數の、人間がウヨ〳〵してゐる。乞食は多く上等の木賃宿に泊り、溫かい飯と汁とを得てゐるが、夫れ等の人は寢やうにも宿がなく、食べやうにも食がない連中である。大の男が二錢の燒芋に腹を充たし、本所と深川との二ケ所にある無料宿泊所と言ふ所で、幸運な時にのみ宿めて貰つて、煎餅布團の中にもぐらして貰ふ。が之れは世の敗殘者中の下の下に屬する人々であつて、その上にトンネル長屋と言ふ所に住む人がある。一棟の建物の中央が道になつてその兩側に四疊半位ゐに仕切られた室が並らんでゐる。要するにその一間が一軒の家の譯で、二三人から六七人づゝの家族が住んでゐる。各戸特別の臺所もなければ便所もなく、二十幾戸が共同で、ずつと隅の方に、小さい竈と、便所とが設けてある。殘飯の最もよく賣れるのも此の一廓である。夕方は早くから日が暮れる、燈火のある家はまれであるから。彼等には家財と言ふものは殆どない。着のみ着のまゝ、と言ふのは此處に住む人達にのみ適用する言葉であらう。飯を焚く素燒の釜のある家すら上等の部に入る生活だと言ふ。『殘飯を三錢。』などゝ言つて買ひ出しに行く人達の住む家である。ソッと忍びやかに眞中の通りを歩んで見ると、働いてゐる人の影は更らにない。痩せこけて寢てゐる病人や、無駄口を饒舌つてゐる女が多い。貧しくとも働く人は生きてゐるとしみ〴〵感じられた。此處にも年の瀬らしい色はない。私の眼からは冷たい涙が落ちてゐた。（民子）

儉約物語（五）

湯錢の値上

近藤浩

湯錢が三錢から四錢に値上になつだので東京市内の澤山の大小儉約家達は大恐慌であります、中には一週間目位にうつかり錢湯へ出かけて見ると湯錢が四錢に暴騰してゐるので驚いて引返す方もなか〳〵ありますがと云つて我慢も出來ず泣く泣く大奮發をして入浴をするといふ事になりますが此際流石は儉約家、石鹼の方を儉約して一錢に相當する丈岡湯をドシ〳〵使つてやう〳〵滿足されるのであります。

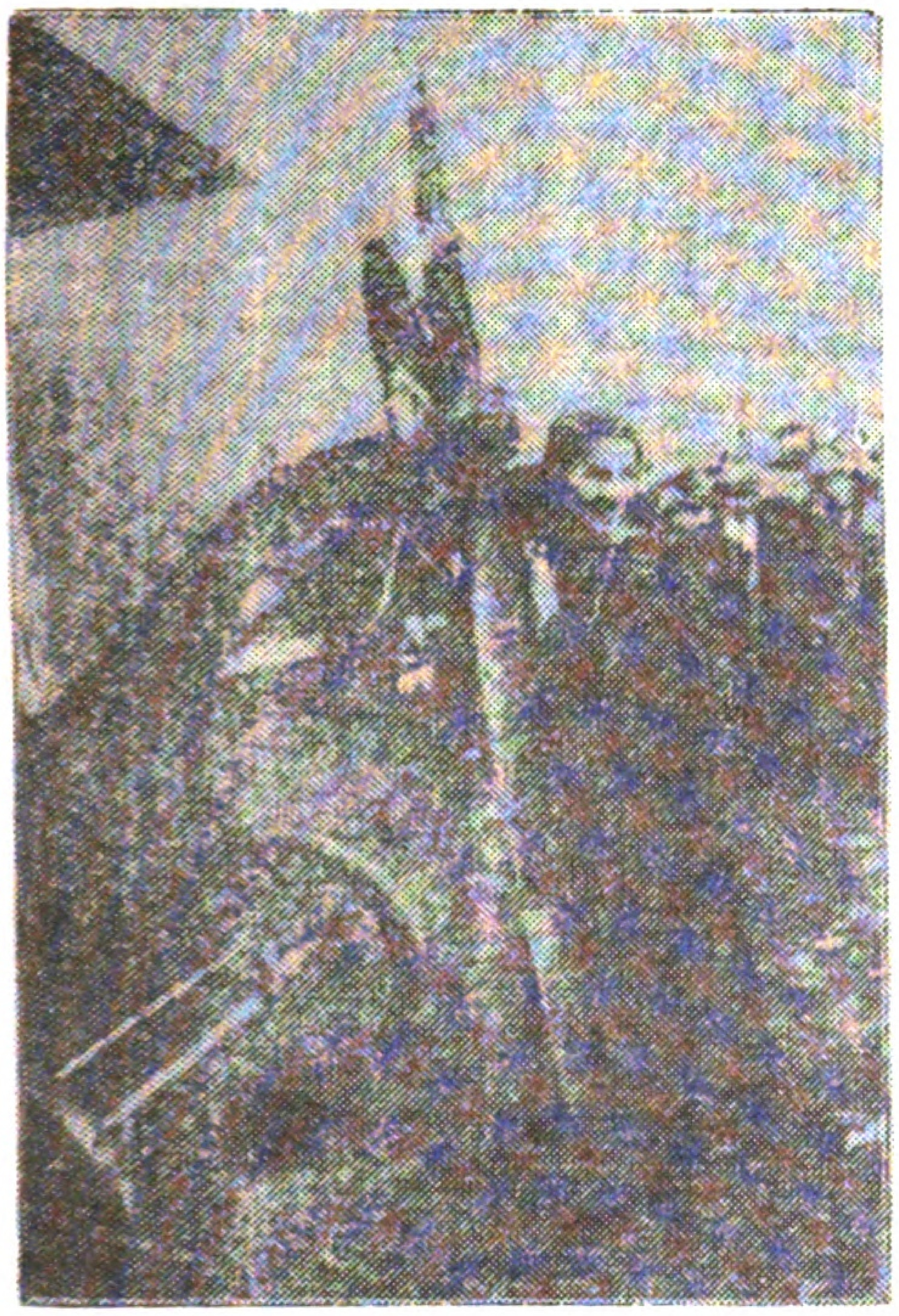
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

正月の飾り

定つた式はない

幸田露伴

□正月に〆繩を張り門松を建てる事は古くからある事ですが、別に定まつた式と云ふものを書いたものは見當りません。或は古い土佐派の畫家等の方には何にか定りがあるかも知れませんが、只今私の見た繪畫等で、殘つて見るぼんやりした記憶を辿つて見ますと、古くから現代の習慣と大差が無いやうに見えます。然し德川時代になつてからは著しく美しくなつたやうに思はれます。



飛行を終つた
スチンソン孃
青山原頭にて

□只門松ばかりで無く葉の付いた竹を取り合はせたり、又は若い削ぎ竹を中心にしたり、其の根を飾る爲めに、白い盛り砂をし、これが風に散らないやうにと、太い繩を輪にして廻りに置いて形をよくすると云ふやうに人出入の多い家では、それ〴〵の工夫をこらして飾りつけを致して居ります。松等も太い松を建てる事もあれば、小松を寄せて束にして建てる事もありますが、浮世繪等によく見えますのは、今日と大差はないやうであります。

□この門松は京阪では十五日江戸では七日に去るのですが、其の全部を取らずに、極く少し殘して置きます。これを『鳥總松』と申します。これは樵夫が木を切りました時には、必らず其の切り口に小さい枝を插して置きますから、其の例にならつたものです。凡て門松を飾ると云ふ事は、松が常盤であると云ふのを愛でゝいたした事ではありますが、これが日本で始まつたものか、支那から傳來したものかよく判つては居りません。

□床飾り等も門松と同樣全く式と云ふ事は無く、成る可く目出度い掛物をかけて、花も立花、插花いづれにしろ目出度いものを飾ると云ふのが、其の主眼となつて居ります。餅を飾るのも今日と同樣で變つた事はありませんが、只其の昔は、今日ほんの飾りに過ぎ無くなつて居る、餅に添えて飾りつけられるものが、凡て當時の食物であつたと云ふ事です。獻立なども、祝ふと云ふ點は婚禮式と同一ですが婚禮は重ぬべからざるものとし正月は何處迄も重ねなければならないものと云ふ意味をもつて料理等も作られて居るやうに思はれます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何故に美人少きか？

衣裳劣けと舞臺劣け

薄田斬雲

□花嫁花婿の寫眞

或る婦人が斯ういふ事を話しました、『男は總體に女よりも立派な顏をして居ます。世の中には美男が多くて美女が少ない樣です。其の證據には、毎日新聞に出る花嫁花婿といふのを御覽なさい。又婦人畫報、淑女畫報などに出る寫眞を御覽なさい。隨分美人が拂底な世の中と見えます。反對に男の方の寫眞は皆な立派な好男子が多いのです。そして寫眞ばかりではない、街路を歩いて見ても、電車の内で見ても、男は皆な美男で好男子で、女は皆な妙な顏が多いのです。第一が、顏の造作と輪廓丈けで言つても、男には一點の非難がないのが多く、女には非難だらけなのが多い樣です、況んや女の顏に現はれる表情は、至つて貧弱である爲めに、女は不釣合に劣つて見えます。』と。

□美人は引込み勝ち

右の觀察は大いに穿ち得たものと思ひます。唯だ疑問とすべきは、花嫁花婿時代に於ては、花嫁さんはまだ世間を知らぬおぼこで、從つて晴れの舞臺に立つと舞臺まけする年齡であるから、何んだか落付きがない顏に見え、從つて、おびえた樣な、惡く言へば一層に卑屈な表情に見える事です。之に反して花婿の方は年齡も三十歲近く、已に浮世の波を潜つて立派に成人した爲めゆつたりした落付きがあり、顏も十分緊つて居ます。從つて生れた儘の素質よりは、一段立派な好男子に見えるのです。又も一つには、街路や電車内で美男多く、美女少ない原因は、日本の目下の國狀に於て、多く外出する女は中流以下の世話女房であつて、藏つて置きの美人は我家に引込み勝ち、餘り外へ顏を出さないといふ事です。之が爲めの漫然觀察すると、美男子、好男子多くして、美婦美人少ない次第です。

□屈從は美を害す

以上は大いに女の方へ贔負しての辯護ですが、併し今日に於て美男多く美女少きは當然とすべき幾多の原因があると思ひます。何故ならば、日本に於ける女の地位が、男よりも數等劣つて居る事です。女の顏には屈從といふ事が深く印せられて居るのです。生氣のない、將た權式のない顏は到底立派な氣高い美人にはなれません。芝居の役者が舞臺に立つには、舞臺を背負つて立ち、舞臺一杯になつて出なくては、見すぼらしくて其の藝も見るに堪へないでせう。之と同じ事で、人間も天地の間に一杯になつて立つといふ氣位がなくては、甚だ見すぼらしいものです。權式のない顏は死んだ顏です。卵に目鼻とは舊式美人の形容ですが、之は人形美で、生きた人間の美ではないのです。生き〳〵した緊つた表情があつたら日本の婦人も今一段の美人になれます。

□温順美と崇高美

女が腹藝を心得たら一層の美人になれます。學問によつて自我特有の權式を養ひ、自ら持し自ら恃む人になると、靈性の光りの自ら外に發して、後天的に表情の美を顯し得ます。引込思案の女は、顏が曇つて古ぼけて見え、甚だ見すぼらしいものです。そんな女は、立派な衣裳を着ると、衣裳劣けして顏が一層貧弱になります。當節の花嫁寫眞には、此の衣裳劣けと舞臺劣けが目立つて居ます。今日の女性美は温順美といふ程度です。崇高美を心掛けなくては、可なりな女にもなり損ねるでせう。

噂

▲空の女王スチンソン孃は、板垣伯爵から羽子板を貰つて來て大喜び、帝國ホテルの客間に、客とお話ししながらも、その方に氣がされてそわ〳〵して居ましたが、やがて話の切れ目を見計つて、さう〳〵羽根をつき出しました。▲或る御婦人は、「きつと羽根のくる〳〵と舞ふ處に共鳴を覺えるのでせうね」と。そんな理屈は無い只無邪氣な亞米利加少女の氣質を發揮したのでせう。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

騰った日常品の相場（下）

醤油乾物類

口醤油と味噌

醤油は去年の暮三圓三四十錢であつた上物が、今年は四圓五十錢、並は二圓四十錢が、二圓九十錢、下の二圓が、二圓四十錢と云ふので三割乃至三割五分騰つて居りますが、一時は上物は五圓位ゐ迄行くだらうと云ふ豫想が仲間内にはあつたさうですが、歐洲戰爭講和の呼び聲に暫らくは、今の値段を續ける事と思ひます。

味噌も本年の盆頃から三四回は騰りましたが、十一月二十三日から、一圓に四貫目のものが三貫三百目となつて居りますがこれは來春も一二ケ月は騰り味があります。鹽は何時も同値で百匁三錢五厘です。

口白米の暴騰

白米は最近最も安かつたのは九月十九日頃で、無砂上等が十八圓三十錢、混砂上等が十七圓五十錢でしたが、今日では、無砂一等二十一圓五錢、二等二十一圓、三等二十圓五十錢、四等二十圓、五等十九圓五十錢、混砂一等二十圓七十錢、二等二十圓二十錢、三等十九圓七十錢、四等十九圓二十錢、五等十八圓七十錢と云ふ高値です。而してこれでも、去る十五日から、獨墺講和提出と云ふので標準相場が下つてまゐりましたから、小賣も餘程下つて來たのです。餅米は上が圓に三升六七合、次が四升昨年に比して一升高ですがこれは本年中には大した變動も無からうと思ひます。(吉角米店調)

口玉子砂糖鰹節

例年は、今頃は下るべき鶏卵も本年は品拂底の爲めか餘儀なく騰貴を見て居ります。即ち百目二十四錢五厘で平年は二十一錢が普通相場となつて居りますから、一時は無理に二十二錢迄下げて見ましたが、矢張り荷が少ないので、元價に戻しましたこれは荷さへ充分にあつたら必らず下るでせう。

砂糖は新聞等で見ますと、非常に高いやうに思はれますが、それ程でも無く、白の極上が一斤に就いて二三錢高になつて居ります。然しこれからは少し下る見込があります。

驚くべき勢を以つて騰貴して居るのは鰹節で、十貫目三十圓位のものが現今では六十圓と云ふ倍額を示して居ります。この割合か最上ものは十圓高位ゐにしか當つては居りません。即ち六十圓代のものが七十圓と云ふのです。品質から見ても價格の割合から見ても、比較的徳用の譯であります。斯云ふ風に普物

家庭お化粧（16）

▼神聖な家庭の象徴▲

▼現代要求の化粧法▲

‖最も有効の使用法‖

‖生地まで垢拔する‖

此のクラブ洗粉を用ひて、常に皮膚を洗ひ、その汚垢を落して、營養を増し、機能を完全にして、皮膚を美しく健全ならしむるのには、いかにクラブ洗粉を使用すべきか、どういふ風に用ひますかといふことを申しますことは、最もよくクラブ洗粉を有効に使用する方法に外ならぬのであります。

從來の顏に荒く當つて痛いやうな洗粉や、脂臭い舊式のものなどであれば、糠袋のやうなものにでも入れて用はねば、用ひ難いかも知れませんが、クラブ洗粉は、そんな缺點がないのみか、直接に用つて、佳香は馥郁として快感を覺えまして、用つて居る間に、効力が顯著に見え

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の騰貴が甚しいので、一般の家庭では次々と安價のものを求めるやうと致して居りますから、益々中以下のものは騰貴する傾向をもつて居ります。これは來春になつても益々騰るばかりであろうと思はれます。

正月用料理

日本料理 川崎まさ子

飲物 巽 鐵男

手輕で美味しいおせちの煮方

□材料 牛蒡一本、孫芋五合、人參二本、勝栗一合、燒蒲鉾一本、田作り一つまみ、靑昆布一枚、

□料理の仕方 これは別々に茹でないで、みんなの煮汁の利用する處に特徴がありますので、牛蒡は皮をこそげて二分厚みの斜め輪切りにして水に放ち、孫芋は丸のまゝ皮をむいて、人參は、厚さ二分で一寸二分と六分の短册に切ります。牛蒡、孫芋、人參の順序で鍋に入れてひた〳〵位の煮出汁で、落ちぶたをして煮こみます。勝栗は皮を取つて茹で、靑昆布は、さつと洗つて細く切つて結び、田作は、ホーロクで煖めて、頭を去り、さいて骨を抜きさり、これとうすく切つた蒲鉾を皆さつきの鍋に加へて、煮切味淋三勺を入れて更に煮ます。砂糖を入れて、一番あとに醬油をさして味を試みて出來上つたら、昆布勝栗田作りの細小いものは上になるやうに美しく重詰とします。

家庭用口取

□取合せ 紅白梅花玉子、さつま芋鼈甲煮、菊きんかん、むつの千草燒、松葉銀杏、

□材料 玉子十個、さつま芋百匁、銀杏一合、むつ四半身、きんかん一合、

□拵へ方 玉子は二十分間茹でゝ、黃白別々に裏漉にかけます。白味はこれを二分して一方を桃色に染めて、砂糖で兩方共に、甘味をつけ黃味にも白味より少し多量の砂糖を入れて、黃味を中にして、白と、桃色の二本の棒を作ります。これを美濃紙に包み更に清潔な布巾に包んで周圍に五本の丸箸を等しい距離にしてあてゝ、しばつて十分程蒸します。蒸せたならば箸や紙をはかして三分位に輪切りにしますと紅白の梅花が出來るのです。

さつま芋は適宜に切つて少し堅めに茹でたものを三分角六分位の線に切つて、炭火で鼈甲の樣に燒目をつけます。これに鹽を少し入れた砂糖水で光澤の出るやうに煮ます。

菊きんかんは、きんかんをたてに細く切目を入れて茹で、種子も實も出してしまつてから、縱におしつぶして菊花のやうにして、砂糖でごろりと煮たもので、松葉ぎんなんとは、銀杏の皮をとり、焙烙で煎つてから、砂糖で煮て、松葉にさしたものです。

むつは三十分程生醬油につけてから中火で兩面を燒いて、二三度掛醬油をしてつやゝかにあぶつてもみ海苔をまぶします。以上出來たなら體裁よく皿にもりつけます。

屠蘇代用飲物

□材料 果汁二合、玉子二ケ、白砂糖一斤、好みの香料少々

□拵へ方 玉子の白味に、バナゝ、蜜柑等の賽の目に切つたものをまぜ合せてコップ又は茶碗の底に入れ、上より、果物の絞り汁(何でも好みのもの)に玉子の黃味と濃き砂糖汁を加へたものを注ぎ入れて、白味の泡立てに砂糖をたした泡雪を浮ばせて出すので、香料は好みのものを二三滴おとせばよろしい。

□練習生募集

尋常小學校卒業の者。三ヶ年卒業。月謝免除。材料貸與。二學年よりの製作品に對して工賃支給。卒業の上は教師として採用又は紹介（規則書郵劵二錢要す）

東京市九段靖國神社横

私立 大妻技藝學校

て來るのであります。

その用法は、まづクラブ洗粉の少量を掌に取り、それと同じ位の分量の湯か水を滴して、兩掌で溶き、少し固い目に溶けた處を、襟から顏にかけて塗り、兩手で輕く摩擦しながら、よく〳〵洗ひますと、指先から掌に少しホテリを感ずるやうになりますから、それを程度に湯で洗ひ流しますと、手觸りが滑らかに柔軟になつて、肌理が細かになつて來ます、これが穩かに汚垢を殘りなく落して、營養を與へ、健全な美しい皮膚として、色艶が生々と血色がよく、肌理細かに、生れ易つたやうに垢ぬけがして、生地までも美しくなる第一の證據であります。

理想的の洗料クラブ洗粉を最も完全に有効ならしむべき理想の使用法は、此のクラブ式化粧法の一たるクラブ洗粉の使用法によつて、まづ第一に生地の土臺から調へ美しくする方法であります。（廣告）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

送年記

廣田花崖

一

年が逝く。平然として默然として嚴然として一糸亂れず年はゆく。歳暮と云ふ人生の一狀態の下には、生死の境に悶ゆる人もあらう。債鬼に逐はれて逃げ廻る者もあらう。飢に泣く者もあらう。晴衣が出來て悦ぶ者もあらう。避寒と稱して形式の煩累を逃れる横着なる贅澤者もあらう。移りゆく花の色を嘆く女もあらう。功ならずして青年の老ひ易きを喞つ男もあらう。併し！併し平然と年は逝く。時の流れは絶對的である。何者にも障碍されない。何者にも拘泥らない。肅然として堂々として年は逝く。吾等は今、年の瀨と云ふ時の流れの一部に棹して居るのである。

二

人は自然を征服し之を文明と稱して誇つて居る。併し時の流れは總ゆる科學者の智識を以てするも如何ともし難い。時の歩みには浮足立つと云ふことが無い。時の歩みは他の都合に依つて左右されない。彼は嚴格にして又見方に依つては冷酷とも云ひ得る。此世に生を享けたる吾等は此嚴格冷酷なる流れに棹し其急流に押し流されつゝ、死の港に着く迄に幾何かの仕事をしなければならぬものであることを覺悟せねばならぬ。されば不休の努力は吾等の信條でなければならぬ。いつでも待つたなしに角力を取る心構へが必要である。年を一つ取る、三十の男が三十一になると云ふ紛ひもない目前の事實に依つて多少感情的になつた私の心はいつもより判然と此必要を感じたのである。

三

私は年を送らうと思ふ。併し年を惜しまうとは思つて居ない。もう少し自分の今考へて居ることを詳しく云ふと、私は後に悔を殘さぬ生活がしたい。過ぎし月日を惜しむ必要を認めない程充實してる日々を閲したい。譬へば其結果が失敗に終つて居ても、顧みてあれがあの當時の最善であつたと諦め得る程に緊張した其日其日を送つて行きたい。年の瀨と云ふ一つの區劃に打突かつた時に冷然として冷然たる時の面に向ひたい。一言にして蔽へば強く張られた紙鳶のウナリの、抵抗に逢ふとブン、と鳴る、あの緊張さが私の理想である。

十四

四

私は今此理想の前に顏を赤くして居る。併し私は其爲に決して年を惜しまうとは思はない。今年は今年として逝かせたい。さうしてより力強き來年を迎へたい。時をして自由に歩ましめよ。私をして最善を盡さしめよ。私は今逝かんとする今年よりもより多く來らんとする年に就て考へて居る。悅喜は希望に在り。私は今此希望を抱擁撫育しつゝ、逝く年を送るのである。

子供の智慧

□最初の贈物

千重子ちやん（一才七ヶ月）は弟が生れましたが、最初の日は恐い恐いと云つて見ませんでした。二日目にそさ覗いて見ろさ、小さい赤ん坊なので傍によつてしげしげ見守りました。其朝父さんの出勤する時、玄關にお見送りして、赤い蟇口から銅貨を一つ取出し「ぺいいつちせん（一錢）赤ちやんたあた（足袋）買つてさ申しました。先程小さい赤ちやんの素足を見て寒からうと思つたのでせう。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

サンタクロスの 郵便函

あづま

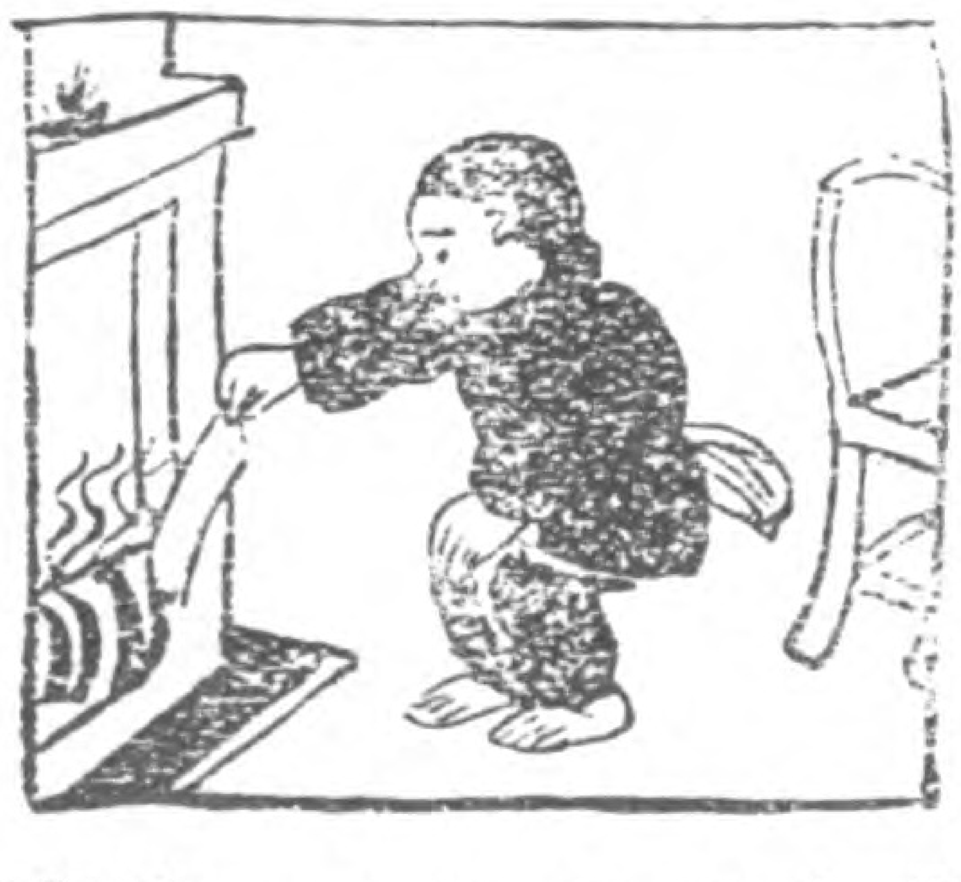
サンタクロスのお爺さんは何處の國の人でせう!!

赤い着物をきて白い髭をはやして、大きな袋に玩具を一杯つめこんで、子供のある家にクリスマスの前の晩烟出窓から這入つて來て、一年中おとなしかつたよい子供に、其子の好な欲しがつてゐた玩具をチャンと枕許に置いて、無言て歸つてしまうほんとに不思議なお爺さん、何處に居るのでせう、どんな人なのでせう。今日は一つ此お爺さんの正體を教へてあげませう!

ネ、

* * * *

太郎といふそれは可愛い子供が居ました。母様や御祖母様に頂いたお小使のたまつたのを、弟や妹のクリスマスのお祝ひを買ふお金にして下さいと母様に出しました。お國からお伯父さんがいらつして、三人の子供に何かクリスマスに玩具を買つてやつて下さいと仰つて、お金を母様に下さつた時も、太郎は、「お伯父様僕はね、サンタクロスのお爺さんにクリスマスには自働車を頂くやうにお約束したから、僕の分は妹と三郎にやつて下さい」と申しました。毎日お爺さんが自働車をキット持つて來て下さるといふては樂しんで、古い玩具を出してニコ〱と遊んで居ました。丁度クリスマスの三日前、寒い〱晩、家中の人がストーブの周圍にあたりながらお話して居ますと、太郎は急にお母様に「どうぞサンタクロスのお爺さんに手紙を書いて下さい、若し僕の自働車を持つて來るのを忘れると大變ですから」と申しました。母様は何といふて手紙を書くのですとお尋ねになりました。太郎は「母様ネ、斯うかいて下さい」『僕の大好なサンタクロスのお爺さん、僕は毎日よい子だと賞められて居ます。母様やお祖母様の御用もします。妹や弟も可愛がつてやります。どうぞクリスマスには僕が欲しくて〱てしやうがない、あの玩具の自働車を忘れないで持て來て下さい。さよなら』母様は太郎の云ふ通りにお書きになりました。そして太郎が其手紙を如何するかしらんと思ふて見てゐらつしやいました。太郎はすまして其手紙をストーブの中に入れました。手紙は火の中で燃えました。スツカリ燃えきつた時、「ア、これでお爺さんの處へ手紙がついた——お母さんストーブはお爺さんの郵便函ネー」と申しました。



太郎の心では、サンタクロスのお爺さんといふものが世の中にたしかに居て、お願を聞いて下さるものだと信じきつて居るのでした。

太郎が信じきつて居るサンタクロスのお爺さんには、母様とお祖母様とがおなりになりました。銀座に行つて太郎の欲しがつて居た自働車を買つていらつしやいました。そしてクリスマスの前の晩太郎の枕許におゝきになりました。太郎は朝起きてどんなによろこんだでせう。

サンタクロスのお爺さんといふのは、情深いあなた方の母様や、お祖母様、また父様やお祖父様の事なのです。一番近くにお出になるのです。だからいふ事きく子か、わるい子か、なにが一番好きなのか、よく御存知なわけで御座いませう。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雑記帳から

てい子

十六

「暗調はもう一回つゞけますよりも、あれ丈けの方が却つて句切れがよさそうに思はれますのでやめました……然しこんな間際になりましてから、小説の方丈け他の記事をおあつめなさいますのは、どんなに御迷惑でせうと折々の感想の中から拔きがきして、別稿のようなものを作つて見ました。こんなものをさし上げますのは、餘り蟲のいゝはなしですけれど、八回までつゞけろさいふ御約束を全く無にするのも苦しうございますので。我儘をお許し下さいませ」(てい子)

＊＊

結婚五週年の記念日を迎へたあの日も銀砂のやうな雨が降つてゐた、シトシトと人車の幌をたゝく細い雨音をきゝながら、私はをのゝく胸を抱いて小さく鞠まつてゐた。

墓場のように白く塗られて、人形のように飾られて、二十の女はたゞ柔なしく動かさるまゝに動いてゐた。そして結婚といふ大きい高い關門を無雜作にくゞつて行つた。えたいの知れぬ亢奮、恐怖、好奇。そうした中に「獨り」は失しなはれた。

然し私はいまそれを悔いてはゐない。そこに導かれた運命の力の司配を信ずるから。たゞ明かな意識に刻まれた何物も殘つてゐないのを思ふ時に、寂しい涙が流れる。「夢中ですごした」そう云はなければならないのが私には悲しい。

あの日からもう五年すぎたのだ。

五年の過程。それは決して平坦な直ぐなる道ではなかつた。幸福と涙と、歡びと悲哀とは、入りこんだ色糸の縞を織りだしてゐる。ふりかへると思ひ出が多い。感じが深い。然しすべては過去だ。

自分の内部も周圍を見る目もだんだん變つてゆく。夫婦としての生活の内容も形も變つてゆく、私はいつでもある覺悟を要する淋しい現實に坐つてゐる。私には光明ある將來が想像されない。

「私はいつでも死を見てゐる、」と彼は言つた。彼は強い意識の中に死と對立してゐる。私は自分の暗い運命を想ふ。そして悲しい。けれども今からそれを嘆げく必要はない。平穩な現在までも暗い想像の雲に捲きこんで悲しい世だとなげくのは馬鹿げてゐる。明日の事を知る人はない。一年或は五年十年の未來を誰が知らう。たゞ刻々に迫りくる現在のみが自分の時としてゆるされてゐる。それを能ふ丈けの努力で滿していけばいゝのだ。

人間、性、戀愛、結婚、死。なんといふ極はまりない複雜した神秘よ。(四月十五日)

＊＊

ボロボロの荷物を肩にくゝりつけた跛足の乞食が一錢銅貨をつき出しながらお芋屋の軒に立つてゐた。乞食はこびるような笑ひを浮べながら「お芋をおくれ」と家の中をのぞき込んだ。芋屋の若い内儀さんは、二三人の男を相手になにか面白そうに興じ合つてゐた。乞食の方は見向きもしなかつた。「お芋をおくれ」乞食は二度も三度もそうくりかへした。でも彼等は知らん顏してゐた。

「これこれ」と乞食は黒い指に銅貨をつまみあげて、少し前屈みになつて内儀さんの方に寄つて行つた。矢張り媚び笑ひがきえずにあつた。内儀さんは澁い顏してやつと立つて來た。私

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

もほつとして歩き出した。貴族の手にある一錢も、乞食の袋から握り出される一錢も、價値に差異のあるはずはない。賣るのを目的にして店を張つてゐる芋屋が、乞食の一錢に對してなぜあゝ冷淡なのか。彼は乞食なるが故に當然うくべき代價にさへ容易に答へられないでゐる。

**

その風態は中流の玄關番と思はせた。荒い縞のうすよごれた袴をつけて、垢じみた絣の着物と羽織はお對であつた。年は十五六らしい。兩手に大きい風呂敷づゝみを提げて小川町から乘つて來た。車內がこみあつてゐたので少年は、片方の荷を腕にさし入れ釣り革に賴よろうとした。でも荷が重いので後ろに蹣跚いた。

「荷物丈けでもこゝにお置きなさい」と席をゆづると、少年は、幾度も禮をかへして荷を下ろした。九段下で下車する時に彼はまた二度も三度も叮嚀な辭儀をのこして出て行つた。私の眼には思はず涙があふれた。「丈夫でおはたらきなさい」と後ろから言葉をかけてやりたいような愛と憐れみとを感じて來た。

「あの寂しそうな少年の行く道が多幸であるように」私は涙の目で祈つてゐた。少年の謙讓な感謝にあふれた態度が、私のなんでもない行爲を價値づけてくれたのであつた。そして不用意の間に純眞な涙をもたせてくれた。あの少年は他人の中に窮屈な冷い生活をしてゐるのかも知れない。人の愛にふれる機會の少い境遇に生ひ立つものでないかしら。

私を美しく泣かせてくれた貧しく寂びしそうな少年！　私は生涯貴方を忘れないだろう。

**

「實行に於ける愛といふものは、空想に於ける愛ほど美しいものじやない。實行に於ける愛は勞働であり忍耐である。又一つの修養である」と『カラマゾフの兄弟』の中の長老ゾシマは云つてゐる。

眞にめさめて自分を愛し、人を愛するほど困難な仕事はない。愛の實行には苦しい努力が伴ふ。ある時は忍ばなければならない、制さなければならない。また克たなければならない。

「強くあれ、愛する我自身よ」

自分にこう呼びかける時にいろいろな意味で涙ぐまれる。

豫告

高田夫人てい子女史の小説「暗調」は好評の内に完結いたしました。新年號からは、左の小說を掲げます

「力」　木內錠子

錠子女史は青鞜社を發起した一人でありましたが、早く其の社を去つて、數年靜かに佛語を研究され、今秋突如として文部省佛語科の檢定に合格された音づれを聞きました。今は美はしい信仰に到達されて、內から湧き出づる力によつて、筆を運んで居られます。

新刊紹介

□**ロダンの言**（高村光太郎氏譯）「人生について眞に物を考へる人で、此等の言葉をまだ讀まない人があつたら、其人は最も大きい幸福の一つを得損つてゐるのだと思ふ。私自身の今日の生活が如何にロダンに負ふ所があるか。今の所私はロダンに影響され過ぎるといふ事を知らない。影響されるだけされようと思ふ。そして此を幸福に思ふ、正當だと思ふ。……此譯とても、一言一句、動悸うつ樣な心の肅敬を以て、殆ど耳に親しく聞いて是を筆に移しながら、此によりてどの位自分自身を眼覺めしたか」と譯者は云つて居られる。ロダンの言葉が、譯者其の人を得て我が藝術界と云はず、眞を探ゐる人の渇を癒すことが出來るのを有難く思ふ（麻布區坂下町十三番地阿蘭陀書房發行、定價一圓五十錢）

□**手輕でおいしい和洋料理の拵へ方**（櫻井ちか子女史著）女史の料理は能く日本の現狀に適應して、簡易な道具と、卑近な材料とを用ひて、家庭向きに調理せらるゝ事に、意を注いで居られることは、既に定評があります。本書は多年の女史の實驗から其の粹を集めたもので、一々材料には値段を附してあります。卷頭には洋風食膳の位置彩色繪あり、卷末には改良臺所及び用具の親切な圖解を添えてあります。各家庭に一本を備へることをお勸め致します。年末年始の贈物としても最も喜ばれるものでありませう。（神田區駿河臺鈴木町十六佐藤出版部發行定價八十錢）

□**ゼシカの母**（廣田花崖氏譯）「ゼシカの最初の祈」の後篇とも云ふべきもので、純潔な篤實な信仰によつて、人の導かるゝ物語であります。少女の讀物として、推奬いたします（麴町區有樂町二ノ三基督教書類會社發行定價十二錢）

□**涙の花籠**（高田尚賢松本雲舟氏共編）指環を盜んだ嫌疑で、牢獄に投ぜられたマリーの悲しい運命、その不幸に打克つた、父と娘の信仰錄であります。美はしく、愛らしい書物です。家庭の讀物の缺乏した今日、この種の出版を歡迎致します。（府下巣鴨宮仲二一三六愛人社發行定價四十錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

●大山公國葬儀　七十有五年の生涯を擧げて軍國の中心となり皇國の輔弼として赤誠を至せる故大山内大臣の葬儀は十七日午前六時邸内の告別式發柩祭に始まり、陸海軍樂隊の奏樂の音と共に一里に餘る葬列は順路を日比谷祭塲前に向ひ、弔砲轟いて柩車の祭壇前に止つたのは九時を過ぐる十分でした。かくて嚴かに式は終り、十一時過ぎ再び葬列は上野停車塲に向ひ、零時二十分公の靈は永遠の悲しみを殘して帝都を去り、午後五時卅分那須野の別邸に到着いたしました。翌十八日更に墳墓の地に至り、七十貫の靈柩は巾八尺、縦、長さ十二尺、四壁をコンクリートにて堅められた石廓造りの墳穴内に鎮められた上に「故議定官内大臣元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵大山巖墓」と云ふ一尺角高さ二間半の白木墓標が樹てられ、兩陛下並に各宮殿下より賜りし榊百五十株は墓邊に植ゑられ、埋葬の儀は無事に終了いたしました。

●獨帝講和提議　獨逸及び其の同盟諸國は聯合軍に向つて講和を提議したと申ます。其の條件は、

一、白耳義の還附
二、佛國に於ける占領地の還附
三、波蘭及リトアニア兩王國の新設
四、塞爾比なを墺匈國に屬せしむる事
五、勃牙利が第二巴爾幹戰爭にて喪失したる領地を恢復する事
六、アドリアチック海附近の伊太利占領地を墺國に返附する事
七、獨逸は阿弗利加、極東其他に於ける殖民地を回復する事
八、君府は依然土國に屬すべき事

にありと傳へられますが、聯合國側はこの條件の内容を更に次の如く觀測して居ります。

一、獨逸は白國及佛國に於ける占領地を還附す可きもアルサス・ローレンは之を保留すべし。
二、獨逸はアントワープを保留し、且つ白國に於ける軍事的條件を保留す可し。
三、獨逸は又佛國の北部に於ける、鐵産出の旺なる地方の經濟的支配權を保留す可し。
四、獨逸が占領したる露領波蘭は、新設王國に包含す可きも、戰前に於て獨領たる波蘭は、從來の儘として此の內に包まれしむる事なかるべし。
五、獨逸はメソポタミアを要求す可し。
六、塞爾比が、曩に巴爾幹戰爭の結果獲得せし占領地を勃牙利に返還する事
七、獨逸は其の喪失せし殖民地を回復するか若くはその若干を佛領殖民地と交換する事。

等にはあらざるかとの憶測をして居りますが、聯合國側は之等の條件にてはとても容認すべき見込みなく、少なくとも左の五ケ條を要する事です。

一、各聯合國內獨軍の占領せる土地を恢復し、獨軍は悉く是等領土より撤退すること。
二、戰亂に依り破壞せられたる土地建物及擊沈船舶に對する損害賠償を支拂ふ事。
三、殘虐行爲に對する責任者を處罰する事。
四、アルサス、ローレンを還附する事。
五、コンスタンチノーブル市及、ダーダネルス海峽を露國に讓渡する事。

而して平和會議は於て協議すべき問題は只獨逸殖民地の發色問題、及獨逸の武力制限に關する問題のみにして、以上の各條件以外聯合國側にありては此際平和を考慮すべき餘地なしと。要するにこの提議は成立しがたく、聯合國側はあくまでも戰はんとして居ります。尙、獨逸側は其の否定を口實として、更に國民に極度の犧牲を强ひんとして居ります。

●英國の行政内閣成立　既報の如く大英斷を以つて軍事内閣を組織したる首相ロイド、ヂョーヂ氏は左の人々を以つて行政内閣を組織いたしました。

大法官	ロバート・ラインレー(統)
内務	ケーブ(統)
外務	バルフォア(統)
拓殖	ロング(統)
陸軍	ダービー卿(統)
地方局總裁	ランダ
商務院總裁	スタンレー(統)
勞働大臣	ホッヂ(勞)
海軍	カーソン(統)
兵站大臣	アヂソン(自)
封鎖大臣	ロバート・セシル卿(統)
農務院總裁	プレセロ(統)
船舶總監	ジョセフ・マックレー(自)
工場總監	モンド(自)
食料總監	デヴオンポート
教育院總裁	フイツシャー(セッフイールド大學副總長)
ランカスター公領尚書	クラウレー
驛遞總監	イリングワース(自)
年金局總裁	ヂョーヂ・バルンス(勞)
檢事總長	エフ・シー・スミス(統)
檢事次長	ヒューワルト(自)
蘇國事務大臣	ムンロー(自)
蘇國檢事總長	クライド(統)
蘇國檢事次長	モリソン(自)
愛蘭總督	ウインボーン(統)
愛蘭事務大臣	ヂューク(統)
愛蘭檢事總長	イグナチアス・オブライエン(國)
印度事務大臣	チエンバレーン(統)

新聞紙は擧つて慇懃に新内閣の成立を歡迎し、戰爭の遂行上最良の人物を得んが爲に、英國古來の傳統を放擲したるロイド・ヂョーヂ氏の勇氣を專ら賞讚して居ります。

●佛國内閣成立　佛國に於ては先般下院に於ける決議の結果、首相ブリアン氏は内閣の改造に就き考量中の處、十二月十三日左の通り發表せられました。

▲新内閣々員

内閣議長兼外務	ブリアン
司法、文部、勞働	ヴヰヴヰアニ
内務	マルヴヰ
大藏	リボー
陸軍	リヨーテ
海軍	ラカザユ
軍器、彈藥	アルベール・トーマ
運般、兵站、民兵	エトアール・エリオ
國民、經濟、農商	クレマンテル
植民	ブウーメルゲ
國務次官	
軍需品製造	ルイ・ルーシユー
運輸	クラヴエル
軍事衛生	ゴダール

▲軍事會議委員

内閣議長兼外務	ブリアン
陸軍	リヨーテ
海軍	ラカザユ
軍器彈藥	トーマ
大藏	リボー
顧問	佛軍總司令長官、政府軍事專門顧問　ジョッフル將軍
同	北及西北軍司令長官　ニヴエユ將軍

●藏相親任と次官局長任命　十六日午前十一時宮中表御座所に於て、大藏次官正四位勳二等勝田主計氏は大藏大臣に任せられました。其の結果大藏次官は大藏省主計局長從四位勳二等市來乙彥氏に、大藏省主計局長は横濱

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

税關長正五位勳三等西野元氏に任命せられ、尚は市來氏は高等官一等に、西野氏は同二等に叙せられました。

◉駐露大使親任式　久しく西大久保に隱棲して居た正三位勳一等子爵内田康哉氏は今度露國註劄特命全權大使を仰せ付られ十四日新任の式を擧げられました

◉兩將軍病む　東鄕元帥は一週間前より風邪にて發熱し、故大山公の葬儀にも參列を見合せ自邸に引籠つて加療して居られます。大迫大將も宿痾の盲腸炎再出し十二日赤十字病院に入院治療中でありますが、經過良好の由傳へられます。

◉列車衝突の原因公表　東北線古間木驛附近に於ける列車衝突遭難死者二十六名に對し、何れも一人に就き一千五百圓宛賠償する事となつて示談となりました。而して其椿事原因に付十三日鐵道院の公表を見るに、

一、古間木驛助役が第三三一列車運轉命令を豫め關係驛員に傳達せざりしこと。
二、同助役が右列車の運轉を失念せしこと
三、同助役が飲酒の爲猥に勤務を放れたること。
四、下田古間木兩驛に於ける「タブレット」閉塞器は今日迄調査試驗の結果完全なりと認む、從つて同時に兩驛にて「タブレツト」を取り出したるは同驛員が、何等かの不當手段を用ひたるものと推定するの外なし、此上は本人(驛員及助役)の自白に俟つの外無きも、本人は今日迄如何にするも自白せず。

と云ふにあります。

◉ブ博士の東洋漫遊　當今世界の天文學、並に諸種の科學方面に於ける實驗學者として知られたる米國オハイオ州クレヴランドのジヨン、アルフツド、ブラシヤー博士は去月廿四日、六十六歳の誕辰を祝ひ、これを機會として東洋漫遊を思ひ立ち十四日横濱着のルシア號にて來朝いたしました。博士は目下加奈陀政府の依頼により、同國ヴイクトリア天文臺に据ゑ附くべき、世界一の大望遠鏡を製作中との事です。

◉心理學の大家頓死す　米國ハーヴアート大學教授獨人ミユンスターベルヒ氏は講義中倒れて死去いたしたと傳へられます。氏は有名なる心理學者にして、一千八百六十三年六月一日獨逸ダンチツヒに生れ、ライブチツヒ、ハイデルベルヒに學び、一千八百九十二年以來ハーヴアード大學の心理學教授となり、一千九百十年より滿一箇年交換教授として伯林大學に赴きしことがあります。博士は又米國に於ける親獨運動の急先鋒として知られた人です。享年五十三歳

◉大隈侯夫人の壽像　去る十一月芝公園に建設したる大隈侯壽像建設豫算費の殘額を以つて、綾子夫人の壽像を設立する事になりました。像の大さは臺石とも一丈五尺で朝倉文夫氏の原作にかゝる袿袴で手には扇を持ち垂髪にして居る像であると申します。塲所は多分早稲田大學校庭の侯爵の銅像の側に決定するらしく、來春一月末には全部竣成の筈です。

◉スヽ嬢飛ぶ　十二日入京せるカザリン、スチンツン嬢は、十四日夜長岡中將夫妻の主催に係る歡迎會に於て、福澤桃介氏夫人房子君より二千五百圓を贈呈せられましたので、嬢は其の厚意に報ゆる爲め、及び東京市に對する禮として十五日夜初めての飛行を試み、尚は十六、十八兩日は午後から青山練兵場に於て美しく大膽な飛行を行つて諸人を醉はせました。殊に十八日は稿お召に丸帶と云ふ和装で快飛行を行ひました。當日閑院宮同妃殿下は吉田御用掛を代理として殿下の思召を傳へ、更に金一封を下賜せられました

◉外國人としての最初の表彰　可憐なる子供の救ひ主、「尼さん學校」として知られたる横濱山手八十三の佛國天主公教會經營の董女學校長マーガレット、マリ女史に對して其の慈善的救濟事業を賞し、外國人としては初めての表彰をなすべく、目下當局に於ては詮議中であると申します。女史は明治六年前校長サン、マツチルダ女史が初めて、横濱に來りさゝやかな茅屋に憐れな日本少女や赤ん坊を集めて、獻身的精神を以つて彼等を導き四十三年九十七歳の高齡を以て逝ける後を引受けたのでした。女史は今年六十歳、廿年前に我が國に渡來して以後一日の如く、赤誠をもつて頼るべなき我國人の爲に最も艱難なる救濟事業をこさゝらせられず營まれ居られてます。女史等の爲に救はれたものは實に五千人の多きに達し現に百四五十人の女子と、六歳以下の哺乳兒四十人は女史の手によつて養はれて居ります。

◉二孝女の表彰　今回井上東京府知事は中川靜江(十五)小幡さだ(十五)に對し其の孝心を賞されて、靜江には賞金二圓五十錢を、さだには二圓を下附せられました。靜江は深川區猿江裏町九六大信田佐一郎方同居中川友吉(六九)の養女、さだも同く大信田方に實母と共に同居して居りますが、共に女工として得た纔かの賃銀で親達を看護して居ります。

◉婦人問題研究會　廿二日午後五時より第十回例會を中央亭に催し、醫學博士三宅鑛一氏の「精神病上に現はれたる男女の差異」に就て講演ある筈。

編輯室より

▲今年もう殘り少なくなりました。皆様の御愛護により、多艱なりし一年を恙なく終へて、希望ある年を迎へんとするに當つて、感謝の涙さへ止めかねます。▲遙かに皆様の御多幸を祈つて、此處に本年最終の編輯を終ります。

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解决を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調查、人物調查、財産調查、男女學生品行調查・裁判上の證據調查等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と想はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

日本少年寮
擴張御披露

十三年前僅かに數人の少年を集めて、組織いたしました日本少年寮は、四十名近くの寮生と數名の質朴なる婦人の手傳ひによつて堅實なる一家族を成し、創立時代の少年は、今や公私の大學生、高等學校生となり、世俗の風潮に染まぬ至純な團體を結ぶに至りました。然し今日迄は奮闘時代で、未だ之に備ふる基金も持たず、篤志御婦人方より一時貸與せられた建築資金は、未だ返濟の順境に立ち至りません、さりながら時勢はこの種の寮舍の必要を日一日と訴へて參ります。此の際一方有志諸氏の御寄附を乞ふて一定の基金を作り、財團法人として育英の事業を完うしたいと共に、遊學の子弟の宿所に心をくだかるゝ方々に廣くこの事業を御披露致したいと存じます。

東京市小石川區雜司ヶ谷町百十五番地
日本少年寮々母　奥宮加壽

新女界

第九卷　第一號

一部十二錢　半年七十二錢　一年一圓四十錢

クリスマス號

見本申込次第進呈

□兒童の保護事業……高田愼吾
□兒童とクリスマス……三田谷啓
□習慣養成の必要……高島平三郎
□自己中心主義と兒童中心主義……高峰博
□臺灣土産……海老名みや子
□若き母の日記より……倉橋惣三
□クリスマスの意義……海老名彈正
□蜜柑賣(小說)……廣田花崖
□少さい白靴……淺田すま子
□天の喜び……野口精子
□待遠しいクリスマス……
□クリスマスの鐘の音(口繪)……栗原玉葉
□支那の特使派遣中止問題……吉野作造

東京市小石川區林町四三
新人社
振替東京一四〇〇五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貴金屬 裝身品 廉價提供

□弊舗の主義□

社會の進歩につれて、商賣の狀態も變つてきた最早是迄のやうに暴利無責任の營業を晃さない。殊に吾人の營業は其の信仰の立場からして、一層品質を撰み薄利に甘んじ、親切を旨とし、專ら公衆の利便を計るを目的とせねばならぬ。之弊舗の主義である、希くは需要の諸兄姉は一度び御來店を乞ふ。

□營業品目□

金銀時計類、金白金鎖、金方針、寫眞入、純白金高彫指輪、ダイヤモンド及各寶石入指輪、金製手釦、ピン、ブローチ、美術前金具、金線眼鏡、袋物類、彫刻置物花瓶類双眼鏡、金銀簪、鼈甲並ニ束髮簪、珊瑚珠、翡翠、琅玕玉簪、根掛、金銀帶止、襟飾、婚約指輪、其他御婦人裝身具一切

東京市日本橋區南茅場町三十二
（鎧橋通り藥師前）

藤新商店

店主 須藤誠吉

電浪二七二八番

本誌の愛讀者には特に割引仕候

美術御傘履物類
眞綿製防寒具類
吹止眞綿及加工

各品共大勉强破格の廉價を以て御用命に應じ申候

東京神田小川町一番地

龜屋商店

電話本局三一九四番

年末年始の贈答に最も歡迎せらる

國產生葡萄酒ノ開祖

大黑 純粹 甘味

甲斐產葡萄酒

天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戶ニヨク下戶ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク時節柄屠蘇代用トシテオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱商品切手調進仕候

宮內省御用達

發賣元 甲斐產商店

東京市日本橋區通旅籠町

電話浪花八七〇、八七一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　**高田畊安**
電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど**新調**同様になります
和洋服**外套インバネス**（東コート）**ネル・セル・ショール半襟毛皮**等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

古本
高價に買受ます
御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴巻町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

産科、婦人科、小兒科
女醫　**井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

耳鼻咽喉科專門
大野耳鼻咽喉科**醫院**
東京京橋區南鍛冶町廿七
院長　大野喜伊次
（入院隨時）
電話京橋一〇三五

高木鐸子考案
鳩印安全下着
此下着は男女の別なく和洋服の下に用ひて着心地よく從來のものと異り横でボタンを嵌め外すやうになつて居りますから衣裳を崩す患ひなく且つ暖かく至極衛生に必要な品であります
大人用　大　五十錢　小　四十五錢
子供用　カンビネーション　大六十錢　中五十五錢　小四十錢
型紙何れも五十錢

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　**吉岡彌生**
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二三五七

料理講習會
會席料理　毎週土曜日午前中　會費一回卅五錢　束修五十錢
西洋料理　毎週月、金午前中（主として主婦の爲）　會費一回五十錢　束修五十錢
外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催　會費一回五十錢束修五十錢
本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

ビーナットバター
一罐　四十錢
ビーナットバターは蛋白質脂肪等を澤山含んで居りますから極めて滋養に富み便秘脚氣衰弱貧血冷え性肺病糖尿病等に特効があります日常嗜好用として料理に用ふれば何でも味をよくします其の他バタの代りにパンにつけるにもようございます
婦人週報社代理部取次
振替東京三一六六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供之友 新年號

定價ノ 共金七十二錢 税一錢半年税

新年 大附録＝桃太郎双六　桃太郎の鬼ヶ島退治に伊しい意味を寫した絵顔で面白いすご六

△ワシントン一代記（子供絵歴史）△得手八人力（絵入歌詞かるた）

△絵畫文章 △伊勢神宮初まゐり（子供絵地理）

△さばきの鐘（動物愛護の絵話）△特色鮮明

見よ 子供紙鳶あげ會（來一月五日婦人之友社運動場に於て開く入場券子供之友新年號に添附）

見よ 少女羽根つき會（來一月四日婦人之友社運動場に於て開く入場券新少女新年號に添附）

大懸賞 お正月の大懸賞、受賞者數七百人

大懸賞 面白い電報文の募集受賞者二百人

新少女 新年號

定價金十二錢 税一錢半年税 共金七十二錢

新年 大附録＝少女運動双六　あらゆる少女の運動を網羅した美しいそして活動的なすご六

△少女小説 靜子の千里眼（奇々怪々）河井醉茗

△寫眞小説 野越え山越（五才）素川

△（富士見町）え △誌上討論 △長篇小説 雛つばめの（まだ見ぬ姉妹小説）

△歴史小説 しなだまや（島久恵）△少女家事

東京雑司ヶ谷 婦人之友社 振替東京 壹六〇〇

肝油服用者之福音

諸大醫の賞讃 肝油球の特效

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人

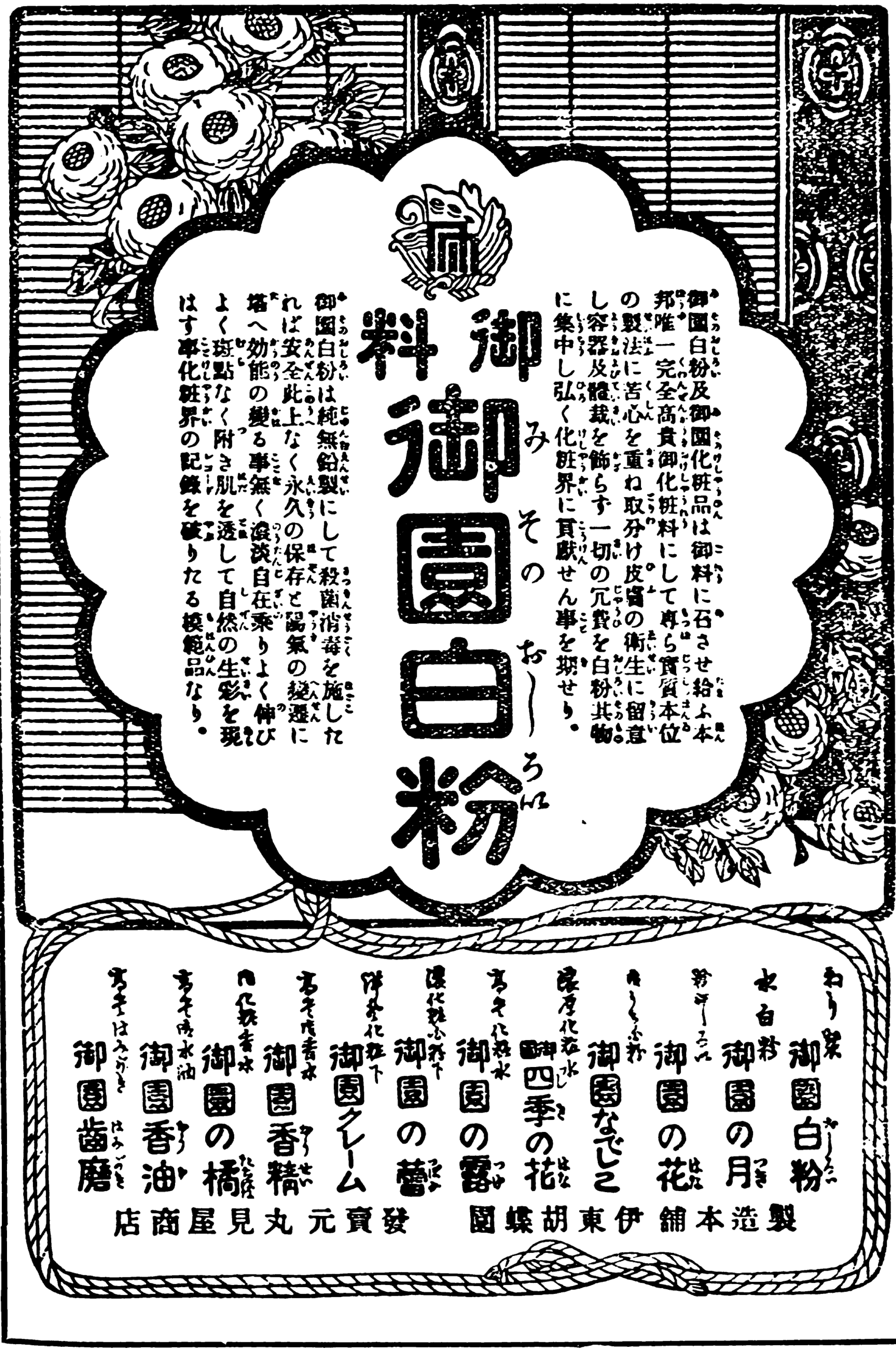
最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

發賣元 東京市赤坂田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話芝六二八〇番
振替東京七〇八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正五年十二月二十二日發行（毎週金曜日發行）　婦人週報第貳巻第五十二號　（大正四年十一月十四日第三種郵便物認可）

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社



Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA